

# 特定非営利活動法人 あしぶえ

## — 演劇はこころのたべもの —



2019年11月「セロ弾きのゴーシュ」ブルガリア公演



人形操作交流と上演前の国立劇場内

### 団体活動のセールスポイント

#### ●演劇の力で人づくり・まちづくり

あしぶえは、演劇の力で子どもたちの心を耕し、コミュニケーション力を育てる活動及び「松江・森の演劇祭」で地域を盛り上げ、観光とつなげる活劇など、「演劇による人づくりまちづくり」に取り組んでいます。



しいの実シアター未来学校で音響操作を体験する子どもたち

### 団体から寄附者へのPR

若者たちは、地域の魅力を感じられず都会へ。人口減少は待ったなし。演劇を志す人もまた、東京一極集中しがち。しかし、コロナ禍で活躍の場を失った演劇人の地方回帰の動きが出始めています。私たちは、この動きを交流人口・関係人口の拡大につなげます。地域の人々が、地域の魅力を再認識し自信を深め、元気がでるよう魅力を発信し、地域の活性化をめざします。

### 寄附を受けて取り組みたい事業と寄付を活用してこれまでに実施した事業

#### ●出演者全国公募によりしまねの魅力発信

「ブラボー！ファール先生」出演者を全国募集しました。出演者は30回の稽古、本番8回に通うなかで、地域の人とのふれあいもあります。県外から誘客することにより、関係人口・交流人口を拡大し、島根の魅力を発信していきます。

#### ●しいの実シアター未来学校

小中学生を対象に3日間開催しました。台本や衣装、音響・照明など、劇づくりを体験しました。3日目の発表会では、家族のみなさんに劇を観てもらいました。

#### ●松江・森の演劇祭

市内の道路沿いに設置する幟と一畑百貨店歩道橋に設置する横断幕を作成し開催期間前から松江市民へのPRにつなげました。

### 団体の目標

#### ●演劇を人々の暮らしの中へ

舞台芸術に無関心だった人たちが、小さな劇場に親しんで様々な事業に参加し、公演のない時でも季節ごとに地域の人々が気軽に楽しめる居場所となるよう力をいれています。

そして、地域の人々と劇場のスタッフが様々な事柄について話し合うことができるようがんばっています。

#### ●地方の良さ、しまねの魅力を発信

国内外の団体や人々となつなぎ、連携することで、関係人口・交流人口の輪を広げていきます。

ここを訪れた人々が感じた島根の良さや魅力を伝え、発信していきます。

そして、ここに住む人々が地域の魅力に改めて気づき、誇りを持ち、地域が活性化するようつなげていきます。

特定非営利活動法人 あしぶえ  
理事長 園山土筆  
〒690-2105 松江市八雲町平原 481-1  
tel 0852-54-2400  
fax 0852-24-2400  
mail ashibue@ashibue.jp  
URL https://www.ashibur.jp